

耳鼻咽喉科・頭頸部外科（担当部門：必修外科・選択科目）

診療科 HP (<http://kagawa-jibika.com>)

研修目標（1ヶ月の研修）

- 汎用性の高い外科基本手技全般の習得とともに緊急性の高い気道狭窄出血への対応を習得。外来での医療面接技術の習得と病棟での全身管理・多職種とのコミュニケーションスキルと協働能力を身につける。

診療科の紹介

大学病院に入院する方の8割は頭頸部がんの患者であり、手術においては外科的な一般手技、化学放射線療法ではPICC挿入・ポート造設などの手技と共に周術期の全身管理が研修できる。

研修内容、経験できる症例や手技

- 外科基本手技：局所麻酔、切開、剥離、止血、縫合
- 救急対応：気道確保、鼻出血止血、膿瘍切開
- 症例：頭頸部疾患全般、咽頭喉頭疾患、耳・鼻疾患(いずれも手術あり)
- 処置：ドレーン管理、経鼻チューブ挿入、気管カニューレ管理、胃瘻管理

研修時のスケジュール

曜日	午 前	午 後
月	外来、検査	病棟、カンファレンス
火	手術	手術、病棟
水	カンファレンス、外来	回診、病棟、カンファレンス
木	手術	手術、病棟
金	外来、検査	病棟、手術

病棟における指導体制

担当患者の担当医(専攻医,専門医)、指導医の複数体制で主に専門医、指導医の指導の元に直接の担当医と実務的な処置、診療行為を行う。併せて回診やカンファレンスで個別の指導を行う。手術に関しては経験した症例全例において自己評価を入力し、指導医が評価や指導を行うシステムを導入している。